



実りある学芸発表会になりました。

日頃の学芸発表会の舞台発表は、時間をかけて発表内容をまとめたり、しっかり人に伝えるための練習を重ねたりしてきた成果が見事に出ていました。

合唱コンクールでは、何度も生徒の皆さんに言っているように、1年生の時から、実行委員を中心に生徒だけの練習がきちんと行える(練習期間中には、うまくいかない時もあったとは思いますが)学年なので、今年も安心して見ていられました。ただ、どのクラスも授業やクラス練習ではかなり良くなっていたのですが、リハーサルではまだどのクラスもクラスのベストの演奏をすることができず、少し心配でした。しかし本番は、3クラスとも良い演奏ができ、聴いている人たちに素敵な合唱を届けることができ、後輩の良いお手本にもなったと思います。

展示の教科の作品では、1年生の時よりも上達したり、内容が豊かになったりしていました。また、学年展示の「職場体験のまとめ」は、限られた時間の中でしたが、パソコンで上手にまとめることができました。まだ展示は続いているので、休み時間を使い、じっくり人の作品を鑑賞してほしいと思います。

実行委員さんは、舞台、展示、合唱に分かれ、多くは裏方の仕事を行い、学芸発表会の土台となってくれました。3年生で多くの方が実行委員になり、学芸発表会をささえてくれたらと思います。

文化部も学芸発表会に向けて準備してきたものを、舞台発表や展示を通して、人に見てもらえる良い機会をえることができました。

学芸発表会を終えて C組

今回の学芸発表会を終えて学んだことが2つあります。

1つ目は、協力することの大切さです。ぼく達は合唱コンクールで歌う歌の練習の時にふざけてしまいました。しかし、それではだめだと思い、指揮者や伴奏者、実行委員とも協力をするようにしました。その結果歌がどんどん上達していきました。そして、合唱コンクールの当日、コンクール直前のパート練習では今までで一番上手に歌うことができました。そして本番、直前にやったパート練習の時よりはミスが少しありましたが、きちんと最後まで歌い進めることができました。そして結果発表の時、他のクラスもミスがあったので金賞がとれるのかもしれないと思って待っていたところ、金賞がとれたのでとてもうれしかったです。

2つ目は、3年生の先輩との大きな差についてです。合唱コンクールで歌っていた3年生達は、ぼく達と1学年しか差がないのに、大きな声で、またとてもきれいな歌声でした。ぼく達の合唱と比べても全く歯が立たないほどに3年生の合唱はとても上手だったことを覚えています。ぼくは、その時「1学年しか変わらないのにな」と思うとともに、「来年はぼく達もそうならなくては」と思いました。



今回の合唱コンクールと学芸発表会を通して、ぼくは協力の大切さと3年生の先輩との大きな差を感じました。ぼくは今回感じた3年の先輩方との差を少しでも縮められるように、日々勉強に励むなどのことをして、これからの中学校生活の内容を豊かにしていきたいです。